

芸豪烈伝その25

京山小圓嬢

きょうやま こえんじょう



夫の死を乗り越え胸に静かな闘志を燃やす

写真・森 幸一ほか 文・おさだ衛



きょうやま こえんじょう 本名・小西カヨコ。大阪市此花区うまれ。叔父の京山小太夫に昭和21年、入門。京山小福と命名される。昭和34年、ギター伴奏で浪曲のアレンジをしてくれた菊地高士と結婚。昭和41年、菊地容子と改名。三味線は入れず夫のギター伴奏だけという新形式の舞台もあった。昭和46年に二代・京山小圓嬢を襲名。十八番は『赤垣源蔵 名残りの徳利』『愛情乗合船』など。

関西を代表する女流浪曲師は芸歴50年。節、声、啖呵（せりふ）が調和して物語の世界が眼前に展開する舞台。切れ味が良く、くどさがない技の冴えは、むしろ江戸前の、さっぱりした芸風といえよう。

玉みがかざれば光りなし。は小圓嬢師の十八番の「名刀稲荷丸」の出だし。芸の修行はおこたらないが、人前でことさらに誇示はしない。普段の師は口数が少なくて腰が低い。

「いや、ほんとうに引つ込み思案で、こわがりなんです。いまでも舞台上上がる前は緊張で手が冷たくなって頭も真っ白になるんですよ」

14歳で叔父の京山小太夫（のちの三代・京山小圓。昭和51年没。64歳）に入門。

「当時は稽古で、大きな声を出せと言われるのがイヤでした」。



浪曲界に足を踏み入れた14歳の頃。「これ以前に子役として1、2年、映画俳優の沢村国太郎さんなどの大衆演劇の地方興行に出てたんですよ」。キリッとした口許に強い意思が見える。

京山小圓は、武家ものや時代ものが得意な、いわゆる堅読みだった。

「師匠はきびしかったですよ。口ごたえは許されなかった。芸も自分で聞いて覚えるというやり方でした」

しだいに浪曲の魅力にとりつかれて25年、継続は力なり。昭和46年に二代京山小圓嬢を襲名する。

「このころからですか。もうすこし本腰を入れてがんばろうと思ったのは」

昭和56年、東京は浅草の浪曲大会で「火の車お万」を演じ新境地を開き、大阪に小圓嬢ありと観客に印象づけた。

「あの『火の車お万』は女国定という副題で『忠治山形屋』の女性版なんです。よかった、面白かったという声の反面で上手にやればやるほど、いやらしく見えるという評価もありました」

と小圓嬢師は急所はきちんと押さえた対応だ。舞台と同じで淡白ですっきりした口調で実がある。

「艶ものが苦手なんです。私に色気が無いので、女を演じると照れくさくて、ぎこちなくなるんです」

小圓嬢の評判を関西の浪曲家に聞いてみよう。松浦四郎若は、

「小圓嬢師匠は関西浪曲界には無くてはならない人で、尊敬する声節の師匠です」。

真面目できちょうめんですね。私もそうなんですが悪くいうと融通が利かない。相手が間違っていると、突っか

かつていくという気性も似ています。ワープロもマスターしていて浪曲親友協会の印刷物を一手に引き受けています。雑用をそしらぬ顔で処理して、なかなか並の人にはできませんよ」

小圓嬢師とはほぼ同年代の廣澤駒藏は、

「小圓嬢さんの90パーセントは、いわゆる憂い節で、観客をホロツとさせた場を締めたり、うまいもんです。

これからは、春野百合子は文芸物、富士月子は義士伝という、小圓嬢のコレという得意分野を開拓してほしい」



昭和42年。写真左が小圓嬢（当時は菊地容子）。正面でマイクを前にするケレン読みの子代・広沢晴海。その右で手拍子の師匠・京山小圓。

小圓嬢師は芝居心もあり、3月2日大阪府は八尾市で浪曲ミュージカル（作・廣澤駒藏）に挑戦する。浪曲親友協会が総出で参加する。関西の浪曲ファンは見逃せないだろう。（詳しくは本誌15ページ）

もうひとり、長老格の天龍三郎にも話を聞いた。

「彼女の叔父さんの小圓は名うての大看板だった。彼女は小圓さんよりも筋



昭和56年。浅草公会堂の「おんな女になわ節新作発表会」。小圓嬢は前列左から2番目。春野百合子（前列右端）や天津羽衣（前列左端）の顔も見える。

がいい。声が良くて活気がある。

僕はお亭主の菊地高士さんと親しかった。仲がいい夫婦だね。菊地さんのギターが彼女の浪曲を引き立てて三味線がなくてもよかったですからね」

心身ともに小圓嬢師を支えていた、ご主人の菊地高士さんは5年前の平成4年11月、交通事故でこの世を去った。

このことで小圓嬢師の口からグチャや泣きことが聞かれることはなかった。静かな物腰の師だが、胸の奥には秘めた闘志が燃えているように思えた。

「私はとにかくマイペースで背伸びをせずにいきたい。これまで培ってきた芸を大事にして一段ずつ上達したいですね」



最愛の夫・菊地高士さんと。「結婚して10年目の昭和44年。浴びるように毎日お酒を飲んでた人でしたが、今日から禁酒するわ、それが10年目の結婚プレゼントだといって。いい人でした。」この写真は小圓嬢師の枕元に置かれている。

浪曲… これほどすばらしい芸は他にはないと

28
—
52

思います。

浪曲家の皆さん…頑張ってください。

多くのファンを楽しませて下さい。

葛飾区・坂本豊吉